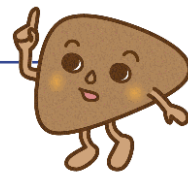


Q5.

B型慢性肝炎やC型慢性肝炎、肝がん治療後などの定期検査はどの様にした方が良いでしょうか？



©2014 さが肝.net

B型慢性肝炎やC型慢性肝炎、肝がんの患者さんは、治療中・治療後に関わらず、肝がんを発症するリスクがあります。

そのため、3ヶ月毎～半年程度の定期検査（血液検査、エコー・CT・MRIなどの画像検査）が推奨されており、**今後も可能な限り継続するべきです。**

ただし、地域の感染者数の動向や医療施設の状況、患者さん本人のCOVID-19保有リスク（COVID-19感染患者への濃厚接触歴がある、感染多発地域に職場・自宅がある）、またQ1に掲載している内容などをふまえ、2か月程度の延期を検討することも可能と考えられます。



©2013 さが肝.net

<参考文献および引用文献> AASLD（米国肝臓学会）AASLD's Clinical Insights;

<https://www.aasld.org/about-aasld/covid-19-resources>

WFUMB（世界超音波医学学術連合）WFUMB Position Statement: Equipment cleaning and safe performance of ultrasound examinations in the context of COVID-19 ;

https://www.jsum.or.jp/committee/uesc/pdf/covid-19_safe_method.pdf